

私立中学・高校のための AI 活用ガイド



ご案内パンフ



学校のAI活用は、"導入"より"整理"から。

校務の属人化と人手不足を、現場の言葉で伴走して解く。

OVERWRITE — 私立中学・高校のためのAIコンサルティング

神戸／社内SE・PM経験／私立高校での導入実績

なぜ今、学校でAIなのか

教員も事務も、やることが年々増えています。通知文や要項の作成、アンケートの集計、保護者対応、入試・募集の準備——。多くが「特定の先生・職員の経験と時間」に支えられ、その人が忙しいと止まってしまう。**属人化と人手不足**は、いまや多くの私立校に共通の悩みです。

そこに「AIを入れたい。でも、何から始めれば？ 生徒の情報を扱って安全なの？」という不安が重なりま

す。
私たちの答えはシンプルです。

ツールを選ぶ前に、まず**"今の業務"**を一枚の地図にしましょう。

遠回りに見えて、これが成否を一番大きく左右します。何を、誰が、どんな順番でやっているか。これがはっきりすれば、AIで速くできる仕事も、そもそも無くせる仕事も見えてきます。

OVERWRITE とは

オーバーライト株式会社は、**社内SE・PMの経験**をもとに、業務の整理からAI・システムの導入・運用まで一貫して伴走する、神戸の開発・コンサルティング会社です。

- ・ **専門用語に頼りません。** 現場の先生にも、経営層にも、同じ言葉で説明します。

- ・ **発注側に立ちます。** ベンダーへの"丸投げ"で失敗しないよう、学校とITの間に立つ"通訳"の役割を担います。
- ・ **教育現場の実績。** 私立高校の採点業務システムに、PMとして約1年・継続して関わっています（ほか、医療・不動産・上場企業の社内SE等）。

ITの専任担当がいなくても大丈夫。「何から外注すればいいかわからない」段階からご相談いただけます。

学校でAIが効く場面



「全部をAIに」ではなく、**効くところから小さく**。私立中高で特に効果が出やすい場面です。

■ 校務・事務の効率化

- ・ 通知文・要項・議事録・案内文のたたき台づくり
- ・ アンケートや名簿データの整理・集計・可視化
- ・ よくある問い合わせの一次対応（定型回答の下書き）

■ 保護者・受験生への対応

- ・ 説明会・オープンスクール案内の文面作成
- ・ FAQ／メール返信の下書き、多言語対応

■ 入試・募集・広報

- ・ 学校紹介文・SNS投稿・パンフ原稿の素案づくり
- ・ 募集要項・過去問・配布資料の整備

■ 教材・授業のサポート

- ・ 教材や小テストのたたき台生成、採点の補助
- ・ ※評価・指導の最終判断は必ず先生が持つ前提で設計します

進め方 — 3つのステップ



私たちは、いきなり大きなシステムを勧めません。**整理** → **小さく試す** → **定着**の順で、コストを抑えながら確実に進めます。

① **整理（現状の棚卸し）** 今の業務フローを一枚の地図に。AIが効く所、そもそも無くせる所、人に依存している所を、外部の目で洗い出します。

② **小さく試す (PoC: 数週間)** 一番効く1業務だけで、効果を実際に検証。「作業時間が〇割減った」など、後から測れる形で確かめます。

③ **定着・運用** 教職員が無理なく使える形に。利用ルールと簡単な研修込みで、現場に根づかせます。

安全とルール — 学校の不安に応えます

生徒の情報を扱う学校だからこそ、ここを最初に固めます。

- **生徒の個人情報を入れない設計**を基本に、クローズド（社内完結型）での運用も選べます。
- 「何を入れてよく、何はダメか」を**明文化**し、教職員が迷わない利用ルールをご用意します。
- 自治体・学校のガイドラインや方針に沿った形に調整します。

AIは便利な道具ですが、**判断と責任は人が持つ**。その線引きを一緒に設計します。

始め方・お問い合わせ

要件が固まっていない段階こそ、ご相談ください。まずは現状を一緒に整理するところから始められます。

- **5万円のAI活用診断**：現状整理＋「どこにAIが効くか」のご提案
- **無料相談**：導入を検討する段階でのご相談を歓迎します

「うちの場合は何から？」を、専門用語抜きで一緒に考えます。

オーバーライト株式会社 (OVERWRITE INC.) 神戸 / Web: overwrite.jp / お問い合わせ: overwrite.jp
の問い合わせフォーム



スマホで読み取り → **無料相談へ**

overwrite.jp (お問い合わせ・5万円AI活用診断はこちら)